

令和6年度 市で行っている予防接種(10月1日から)

予防接種には接種に適した時期があり、その時期に受けていただくことが病気の予防に最も効果的です。

予防接種名と予防できる病気	回 数		対 象 者	標準的な接種期間	そ の 他
BCG(生ワクチン) 予防できる病気：結核	1回		1歳未満	生後5か月～8か月に至るまで	
五種混合(不活化ワクチン) 予防できる病気： 百日咳、ジフテリア 破傷風 ポリオ(急性灰白髄炎)、ヒブ	1期初回	3回	生後2か月～7歳6か月未満	生後2か月～7か月に至るまで	【標準的な(望ましい)接種間隔】 ① ← 3～8週 → ② ← 3～8週 → ③ ← 6か月～1年半 → ④
	1期追加	1回		1期初回(3回)終了後 6か月～1年6か月の間	
二種混合(不活化ワクチン) 予防できる病気： ジフテリア、破傷風	2期	1回	11歳以上13歳未満	小学6年生相当	
麻しん風しん混合(生ワクチン) 予防できる病気： はしか、風しん	1期	1回	1歳以上～2歳未満	1歳になったら早めに受けましょう	
	2期	1回	保育園・幼稚園 年長に相当する年齢	年度内に6歳になる者	
日本脳炎(不活化ワクチン) 予防できる病気： 日本脳炎	1期初回	2回	生後6か月～7歳6か月未満	3歳～4歳	【特例措置】 平成16年4月2日から平成19年4月1日に生まれた方は、1期・2期(合計4回)を20歳になるまで受けることができます。
	1期追加	1回		1期初回(2回)終了後 1年後(4歳～5歳)	
	2期	1回	9歳以上13歳未満	9～10歳	
小児用肺炎球菌(不活化ワクチン) 予防できる病気： 肺炎球菌による 髄膜炎など	初回	3回	生後2か月以上5歳未満	生後2か月から開始	接種開始年齢により、接種回数が異なりますので保健センターへお問い合わせください。 (令和6年10月から20価ワクチンになります。)
	追加	1回		1期初回(3回)終了後 60日以上あけ1歳以降 (生後12～15か月)	
水痘(水ぼうそう)(生ワクチン) 予防できる病気： 水痘(水ぼうそう)	2回		1歳以上3歳未満	1回目は1歳以上 1歳3か月未満 3か月以上間隔をあける	【標準的な(望ましい)接種間隔】 6か月以上12か月未満 ① ← → ②
B型肝炎(不活化ワクチン) 予防できる病気： B型肝炎ウイルスによる肝炎 肝硬変、肝がんなど	3回		1歳未満	生後2か月～9か月に至るまで	【標準的な(望ましい)接種間隔】 ① ← 4週 → ② ① ← 20週以上 → ③
ロタウイルス(経口生ワクチン) 予防できる病気： ロタウイルス胃腸炎	ロタリックス 1価	2回	出生6週0日後から24週0日後	初回接種は生後2月から 出生14週6日後まで	4週以上 ① ← → ②
	ロタテック 5価	3回	出生6週0日後から32週0日後		4週以上 4週以上 ① ← → ② ← → ③
HPVワクチン(不活化ワクチン) 予防できる病気： ヒトパピローマウイルス感染症 子宮頸がん	3回		小学6年生～高校1年生 の年齢に相当する女子	中学1年生相当	【標準的な(望ましい)接種間隔】 1～2か月 4～5か月 ① ← → ② ← → ③ 9価ワクチンの場合、初回接種が15歳未満であれば、2回の接種で完了することができます。

※おたふくかぜ、高齢者以外のインフルエンザなどの予防接種はご自身(自費)で受けていただく予防接種になります。
 ※定期予防接種に変更がある場合は、お知らせします。